

令和8年度第3回 感染症発生動向調査協議会

議事概要

1 日 時 令和8年6月17日（水） 14：00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室（岐阜市柳戸1-1）

3 出席者

委 員：馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 感染制御室 室長）
川本 典生（岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 臨床教授）
澤田 明（岐阜大学医学部附属病院 眼科 臨床准教授）
加藤 達雄（国立病院機構長良医療センター 院長）
高橋 義人（岐阜県総合医療センター 中央検査部部長 兼 臨床検査科部長）
オブザーバー：市原 拓（岐阜市保健所 感染症・医務薬務課 感染症1係長）
事務局：杉山 恵里（感染症対策推進課 感染症対策監）
松岡 真史（感染症対策推進課 技術主査）
青木 美樹（感染症対策推進課 主任技師）
酢谷 奈津（保健環境研究所 疫学情報部長）
野池 真奈美（保健環境研究所 主任専門研究員）

4 議 題 （進行：澤田委員）

- （1）前月の感染症発生動向について
- （2）検討すべき課題
- （3）情報提供

5 議事概要

（1）前月の感染症発生動向について

- ・事務局から5月分の感染症発生動向調査結果について、集計表及び統計グラフ資料に基づいて説明を行った。
- ・月番委員から月番委員作成資料に基づいて発生動向に対するコメントがあった。

【意見交換】

（委 員）同じアパートに居住する外国人労働者の間で、結核の集団発生事例があったとの報告がありましたが、新たに外国人労働者を受け入れる際の啓発とか情報提供がどのように行われているのか気になります。産業医講習会で講義を担当した際に、ある先生から、新たに外国人を受け入れるにあたって、どんな対策をとったらいいか質問をされたことがあります。

（事務局）何年か前から技能実習生の監理団体への啓発を行っていますが、監理団体から各事業所に情報がしっかり伝わるかという問題があります。そこで、事業所に直接働きかけができるよう、今年度から、外国人労働者を抱える事業所を把握する取組みを行うこととしています。保健所単位では、既にそうした取り組みや研修会を地域で実施しているところもありますが、全県下でどうかというバラツキがあります。

(委 員)

健康福祉部だけでなく、外国人の就労に関係する県の組織と連携して行えるとよいと思います。特に、新しく外国人を受け入れる事業所には啓発が必要と思います、

(2) 検討すべき課題

●梅毒患者報告数の推移について

【意見交換】

(委 員) 梅毒が、コロナ禍の間も増加して、なぜだろうという話はあったのですが、2020 年から 2023 年にかけては全国でも、岐阜県でも増えています。2025 年は、全国では減ったのに岐阜県では増えていて特異的な動きに見えます。2026 年は減少傾向のようですが、何か予防意識が高まるような効果的な啓発が行われたのでしょうか。

(事務局) 岐阜県独自というよりも、2023 年に全国で梅毒報告数が過去最高になった際には、ニュースでもかなり取り上げられましたので、そうしたことが影響しているのかもしれませんが。

(委 員) そういう効果が少し遅れて出てきたのかもしれませんが、今後の動向を見守りましょう。

● 全国の麻しん発生状況について

【意見交換】

(委 員) 今年の全国の麻しんの発生状況をみると、2019 年の時と違って、比較的拡がりや抑えられているように思います。当時と現在で、保健所の調査や対応の仕組みが変わったということはあるのでしょうか。

(事務局) 制度的には変わっていませんが、コロナの経験を経て、対応が早くなったということはあるかもしれません。

(委 員) 一般市民や事業所も、健康観察中は仕事に出ないというのを徹底してくれるようになったとか、医療機関をはじめとする関係機関が情報を早く出してくれるようになって、感染拡大が防げるように社会が変わってきたのかもしれませんが。

(委 員) ワクチンについては、接種しても発症する人はいますが、症状が軽い修飾麻しんになり、そういう軽微な症状の人でも健康観察中にしっかり診断され報告されているのではないのでしょうか。そのため、数は多く見えても感染性の低い人も含まれていて、社会への影響が少ない状況で抑えられている可能性も考えました。

(3) 情報提供

感染症対策推進課から、以下の内容について情報提供を行った。

- ・国通知：「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を受けたエボラ出血熱に係る協力依頼について
- ・国通知：「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を受けたエボラ出血熱に係る対応についての一部改正について
- ・資 料：検疫所が把握した入国者に対する検疫対応と都道府県等との連携
- ・県通知：岐阜県エボラ出血熱対応暫定マニュアルの一部改正について